

令和7年

第4回市議会定例会 議案第8号

令和7(2025)年度函館市病院事業会計補正予算(第3号)

第1条 令和7(2025)年度函館市病院事業会計補正予算(第3号)は、次に定めるところによる。

第2条 令和7(2025)年度函館市病院事業会計予算(以下「予算」という。)第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収	入	
第1款 病院事業収益	26,559,535千円	△ 248千円	26,559,287千円
第3項 医業外収益	2,161,057千円	△ 248千円	2,160,809千円
	支	出	
第1款 病院事業費用	27,163,979千円	△ 594千円	27,163,385千円
第3項 医業外費用	236,470千円	△ 594千円	235,876千円

第3条 予算第4条本文括弧書中「864,205千円」を「864,221千円」に、「863,440千円」を「863,456千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収	入	
第1款 資本的収入	2,986,961千円	△156,700千円	2,830,261千円
第1項 企業債	1,752,600千円	△156,700千円	1,595,900千円
	支	出	
第1款 資本的支出	3,851,166千円	△156,684千円	3,694,482千円
第1項 建設改良費	2,158,228千円	△156,684千円	2,001,544千円

第4条 予算第5条中

「市立函館病院本棟免震装置更新事業 452,100千円 令和7年度から令和8年度まで 令和7年度 229,570千円 令和8年度 222,530千円」	を	「市立函館病院本棟免震装置更新事業 556,204千円 令和7年度から令和9年度まで 令和7年度 72,886千円 令和8年度 327,206千円」	に
---	---	--	---

令和9年度 156,112千円」

改める。

第5条 予算第7条中「1,752,600千円」を「1,595,900千円」に改める。

令和7年12月1日提出

函館市長 大 泉 潤

令和7年度函館市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収入

款	項	目	予 定 額			備 考
			既 決 額	補 正 額	計	
1 病院事業収益			26,559,535 ^{千円}	△ 248 ^{千円}	26,559,287 ^{千円}	
	3 医業外収益		2,161,057	△ 248	2,160,809	
		1 他会計負担金	774,939	△ 248	774,691	一般会計負担金を補正

支出

款	項	目	予 定 額			備 考
			既 決 額	補 正 額	計	
1 病院事業費用			27,163,979 ^{千円}	△ 594 ^{千円}	27,163,385 ^{千円}	
	3 医業外費用		236,470	△ 594	235,876	
		1 支払利息及び 企業債取扱諸費	151,547	△ 594	150,953	企業債利息を補正

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

款	項	目	予 定 額			備 考
			既 決 額	補 正 額	計	
1 資 本 的 収 入			2,986,961 ^{千円}	△ 156,700 ^{千円}	2,830,261 ^{千円}	
	1 企 業 債		1,752,600	△ 156,700	1,595,900	
		1 企 業 債	1,752,600	△ 156,700	1,595,900	市立函館病院本棟免震装置更新事業費企業債「229,500千円」を「72,800千円」に改める。

支 出

款	項	目	予 定 額			備 考
			既 決 額	補 正 額	計	
1 資 本 的 支 出			3,851,166 ^{千円}	△ 156,684 ^{千円}	3,694,482 ^{千円}	
	1 建 設 改 良 費		2,158,228	△ 156,684	2,001,544	
		1 施 設 整 備 事 業 費	749,462	△ 156,684	592,778	病院施設整備事業費「749,462千円」を「592,778千円」に改める。

令和7年度函館市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	△ 604,863
	減価償却費	915,669
	固定資産除却費	59,234
	長期前払消費税償却	36,990
	修学資金貸付金貸倒引当金繰入額	24,293
	資格取得資金貸付金貸倒引当金繰入額	3,251
	貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,641
	退職給付引当金の増減額 (△は減少)	448,946
	賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,055
	法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	13,135
	長期前受金戻入額	△ 1,075,752
	支払利息	150,953
	小計	<u>34,552</u>
	利息の支払額	△ 150,953
	未払消費税等の増減額	765
	業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 115,636</u>
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 1,765,522
	長期貸付金の貸付による支出	△ 26,089
	長期貸付金の返還による収入	360
	国庫補助金等による収入	159,570
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	1,074,431
	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 557,250</u>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	一時借入れによる収入	120,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,595,900
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,666,849
	リース債務の返済による支出	△ 236,022
	財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 186,971</u>
	資金増加額 (又は減少額)	△ 859,857
	資金期首残高	3,039,928
	資金期末残高	<u>2,180,071</u>

継 続 費 に 関 す る 調 書

款	項	事業名	全 体 計 画										前 年 度 末 ま で の 支 払 義 務 発 生 額	前 年 度 末 ま で の 支 払 義 務 発 生 額	当 該 年 度			当 該 年 度 末			翌 年 度 以 降			継 続 費 の 総		備考						
			年 度	年 割 額			左 の 財 源 内 訳								支 払 義 務 発 生 予 定 額			支 払 義 務 発 生 予 定 額			支 払 義 務 発 生 予 定 額			額 に 対 す る								
				企 業 債			自 己 資 金			補 正 前					補 正 額			補 正 後			補 正 前			補 正 額			補 正 後			補 正 前	補 正 後	
				の 額	補 正 額	の 額	の 額	補 正 額	の 額	の 額	補 正 額	の 額			の 額	補 正 額	の 額	の 額	補 正 額	の 額	の 額	補 正 額	の 額	の 額	補 正 額		の 額	の 額	の 額	の 額	%	%
1資本的支出	1建設改良費	市立函館病院 本棟免震装置 更新事業	7	千円 229,570	千円 △ 156,684	千円 72,886	千円 229,500	千円 △ 156,700	千円 72,800	千円 70	千円 16	千円 86	千円	千円	千円 229,570	千円 △ 156,684	千円 72,886	千円 229,570	千円 △ 156,684	千円 72,886	千円	千円	千円	千円	千円	千円	50.8	13.1				
			8	222,530	104,676	327,206	222,500	104,700	327,200	30	△ 24	6											222,530	104,676	327,206	49.2	58.8					
			9		156,112	156,112		156,100	156,100			12	12												156,112	156,112		28.1				
			計	452,100	104,104	556,204	452,000	104,100	556,100	100	4	104			229,570	△ 156,684	72,886	229,570	△ 156,684	72,886	222,530	260,788	483,318	100.0	100.0							

令和7年度函館市病院事業会計予定貸借対照表 (当年度分)

(令和8年3月31日)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

		千円
(1) 有形固定資産	36,605,109	
減価償却累計額	<u>△26,962,226</u>	千円 9,642,883
(2) 無形固定資産		96,716
(3) 投資その他の資産		
イ 長期貸付金	57,919	
貸倒引当金	△ 49,236	
ロ 出資金	148	
ハ 長期前払消費税	<u>573,324</u>	
投資その他の資産合計		<u>582,155</u>
固定資産合計		千円 10,321,754

2 流 動 資 産

(1) 現金預金		2,180,071
(2) 未収金	4,019,794	
貸倒引当金	<u>△ 13,950</u>	4,005,844
(3) 貯蔵品		60,249
(4) 短期貸付金		<u>460</u>

千円

流動資産合計 6,246,624資産合計 16,568,378

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債 ^{千円} 6,458,781

(2) リース債務 557,156

(3) 引当金

イ 退職給付引当金 ^{千円} 5,211,185引当金合計 5,211,185

固定負債合計 12,227,122

4 流動負債

(1) 一時借入金 120,000

(2) 企業債 1,877,621

(3) リース債務 177,639

(4) 未払金 1,680,853

(5) 前受金 11,633

(6) 引当金

イ 賞与引当金 681,067

ロ 法定福利費引当金 132,248

引当金合計 813,315

(7) その他流動負債	千円 99,586	
流動負債合計		千円 4,780,647
5 繰延収益		
長期前受金	15,860,625	
収益化累計額	<u>△14,579,556</u>	
繰延収益合計		<u>1,281,069</u>
負債合計		18,288,838
資 本 の 部		
6 資本金		2,799,168
7 剰余金		
(1) 資本剰余金	942,119	
(2) 欠損金		
イ 当年度未処理欠損金	千円 <u>5,461,747</u>	
欠損金合計	<u>5,461,747</u>	
剰余金合計		<u>△ 4,519,628</u>
資本合計		<u>△ 1,720,460</u>
負債資本合計		<u><u>16,568,378</u></u>

個 別 注 記 表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 資産の評価基準および評価方法

(1) 貯蔵品 先入先出法に基づく原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

減価償却の方法 定額法によっている。

主な耐用年数 建物 6～47年

構築物 6～35年

医療用器械備品 3～20年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

減価償却の方法 定額法によっている。

主な耐用年数 その他無形固定資産 5年

(3) リース資産

減価償却の方法 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産については自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

3 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損および償還の免除による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。なお、貸倒実績率については、不納欠損処理していない債権のうち、3年経過した債権を貸倒処理額とみなして算出している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度における退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している（なお、一般会計が負担すると見込まれる高等看護学院分を除く）。

(3) 賞与引当金および法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給およびこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給（支出）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している（なお、一般会計が負担すると見込まれる高等看護学院分を除く）。

4 その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。ただし、固定資産（リース資産を除く）に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定をもって固定資産に整理し、20事業年度で均等額を償却している。

II 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

1 重要な非資金取引

当年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産および負債の額は、それぞれ58,196千円である。

III 予定貸借対照表（当年度分）に関する注記

1 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、5,102,215千円である。

IV セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

病院事業会計は、市立函館病院、市立函館恵山病院、市立函館南茅部病院および市立函館病院高等看護学院を運営しており、各病院および高等看護学院で運営方針等を決定していることから、この4つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
函館病院	市立函館病院（函館市港町1丁目10番1号、病床数648床）の運営業務
恵山病院	市立函館恵山病院（函館市日ノ浜町15番地1、病床数60床）の運営業務
南茅部病院	市立函館南茅部病院（函館市安浦町92番地、病床数59床）の運営業務
高等看護学院	市立函館病院高等看護学院（函館市港町1丁目5番15号、定員210人）の運営業務

2 報告セグメントごとの医業収益等

令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

	函館病院	恵山病院	南茅部病院	高等看護学院	合計
医業収益	22,720,876	491,449	397,054		23,609,379
医業費用	24,086,349	749,415	658,019		25,493,783
医業損益	△ 1,365,473	△ 257,966	△ 260,965		△ 1,884,404
経常損益	△ 1,037,913	△ 121,967	△ 136,678	565	△ 1,295,993
セグメント資産	14,938,864	574,434	602,501	452,579	16,568,378
セグメント負債	16,553,465	571,868	872,373	291,132	18,288,838
その他の項目					
他会計繰入金 （収益的収入）	1,110,212	190,866	179,861	136,964	1,617,903
減価償却費	853,604	43,022	6,405	12,638	915,669
特別利益	659,004	15,543	3,729	14,878	693,154
特別損失	621	696	659		1,976
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	266,553	△ 33,239	466,224	△ 11,225	688,313

V リース契約により使用する固定資産に関する注記

1 オペレーティング・リース取引に係る未経過リース料相当額

1年以内 1,290千円

1年超 2,684千円

2 長期継続契約に係るリース債務

通常の売買取引の方法に準じた会計処理を行ったリース取引に係るリース債務のうち、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約に係るものは下記の金額である。

リース債務（流動負債） 177,639千円

リース債務（固定負債） 557,156千円

VI その他の注記

1 貸倒引当金の目的使用による取崩しについて

(1) 修学資金貸付金に係る貸倒引当金

当年度において、償還の免除による損失19,200千円を処理するため、貸倒引当金19,200千円を使用する。

(2) 資格取得資金貸付金に係る貸倒引当金

当年度において、償還の免除による損失3,159千円を処理するため、貸倒引当金3,159千円を使用する。

(3) 未収金に係る貸倒引当金

当年度において、債権の不納欠損による損失2,800千円を処理するため、貸倒引当金2,800千円を使用する。

2 退職給付引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、退職手当として135,991千円を支給するため、退職給付引当金135,991千円を使用する。

3 賞与引当金および法定福利費引当金の目的使用による取崩しについて

当年度において、期末・勤勉手当の支給およびこれに係る法定福利費の支出のうち、前年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）として740,125千円を支給（支出）するため、賞与引当金および法定福利費引当金740,125千円を使用する。